

### 3学期 きらきら担当の先生のお話

篠原小学校では、今年1年、普段の授業や行事の中で、「主体性」をキーワードにして活動をしてきました。みなさんは、自分の「主体性」を育てることができたでしょうか？

今年1年の中で、授業や行事、係活動、6年生は委員会活動の中で、次のような気持ちになることは、あったでしょうか？

①つ目 「自分からしよう！」「自分たちの力でやりたい！」

②つ目 「もっとよくしたい」「最後までやり遂げたい」

③つ目 「もっとやりたい！」「もっと時間が欲しい！」

このような気持ちになる活動、場面があれば、きっとあなたの「主体性」が育つ場面があったと思います。

今、先生が担任する2年1組では、国語で「スーホの白い馬」の勉強をしています。授業の中で、「もっとやりたい」や「もっと時間が欲しい」という声があがってきました。1学期には、体育や生活など好きな人が多い教科の時にしか聞こえなかった声が、国語でも聞こえるようになり、とても嬉しく感じます。

きっと、篠原小のどのクラスでも、みなさんの「主体性」が伝わる声が聞こえるようになっていないかと思っています。

みなさんが大人になる頃の世の中は、予測ができません。どんな道具が開発されているか、どんな仕事があるのか、どんな生活になるのか、先生たちにも分からないことだらけです。そんな未来でも活躍できるように、

「どんなことにも、自分から取り組める力」

「始めたことは、粘り強く、最後まであきらめない力」

「時間を上手に使って、よりよいものを目指す力」

この3つの「主体性」の力をさらに育てて欲しいと思います。例え失敗したとしても、前向きに、主体的に取り組んでいるあなたの目は、きらきら輝いているはずです。

1～5年生は、4月から新しい学年で、6年生は中学校で、自分をきらきら輝かせてください。応援しています。

